



Free Soft

OpenOffice に注目 !

■ **始めに:**我々がかねてより、パソコンの文書作成などには従来 Microsoft 社の Office を使用して来ました。又これに代わるソフトは無いものと思って高い費用を支払って来ました。しかしこの Microsoft の Office に代わる、しかも Free(無料)の Open Office というソフトがネット上に出て来ました。

■ **Open Office とは:**

サン・マイクロシステムズ(Sun Microsystems)は、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンタクララに本社を置くコンピュータの製造・ソフトウェア開発・IT サービス企業であったが OpenOffice.org の名称で非営利団体のプロジェクトとして提供される様になった。

OpenOffice.org は Microsoft Office 2007/2010 で新たに採用された Office Open XML 形式のファイル(拡張子が docx, xlsx, pptx 等)は読み込みと、加工は可能であるが、保存はできない。2012 年 5 月現在、日本語の PC 環境で Office Open XML ファイル形式で保存可能なサードパーティのオフィススイートは LibreOffice のみである。 OpenOffice.org では、OpenOffice.org 2.0 以降では標準ファイル形式として採用し、OpenDocument 形式の読み込み、保存ともにサポートした。Microsoft Office は、Office 2007 Service Pack 2 より OpenDocument 形式に対応している。

■ **ダウン・ロードはここから**

<http://www.openoffice.org/ja/download/>



表計算



文書作成



プレゼンテーション



図形描画



データベース



数式

このソフトの機能は、我々の馴染みの深い Microsoft の Office とほぼ同じ機能を持っている。

文書作成: (Word)

表計算: (Excel)

プレゼンテーション: (PowerPoint)

などである。

すでに多くの官公庁で採用が進んでいる

兵庫県洲本市、・真岡市、福島県会津若松市愛媛県四国中央市、大阪府箕面市、愛知県豊川市、北海道深川市大阪府交野市龍ヶ崎市都道府県でははじめて、山形県庁が 2011 年度から全パソコンに OpenOffice.org を導入することを決定し企業株式会社アシストに移行済み、住友電気工業株式会社に移行済み、株式会社トー

ホーム、三洋機工、新生フィナンシャル等。又海外ではシンガポール国防省、フランス経済・財政・産業省、フランス内務省、ハンガリー国防省マケドニア共和国財務省、オランダ・ハールレム市、イギリス・ブリストル市議会など

今後の Microsoft 社との関連やう動向に注目してゆきたい。